



みのわ通信No. 99

発行【箕曲地域づくり委員会】〒518-0441 名張市夏見215 箕曲市民センター内
TEL/FAX : 0595 (63) 0453 Email: minowa-ko@emachi-nabari.jp



卒業おめでとう！

三月十八日に箕曲小学校において、第一三四回卒業証書授与式が行われました。コロナ禍で感染対策を取りながらの学校生活ではありましたが、卒業記念も兼ねて「箕曲は桃の里」につながる活動を地域の方々と一緒に三月三日に行いました。



当日は箕曲小学校の敷地内に、五・六年生が「花桃」の苗



を植樹しました。初めてにも関わらず、手際よく作業を進め、さすが六年生という姿をみせてくれました。

また、小学校の西側にある「桃の園広場」の看板製作とベンチのペンキ塗りを行ってくれました。箕曲地域の一員であるという自覚を持って、花桃と共に成長していく子ども達をこれからも地域で見守り続けたいと思います。

～卒業生と新入生に地域づくりからお祝い～

ます。地域づくり委員会からは卒業のお祝いに図書カードを。そして、卒業生の先輩でもあり地域づくり委員会川北会長からは「小学校での友だちは一生の宝です。中学校へ行くても仲間を大切に、周りの方々に感謝し、素直に『ありがとう』と言える人になります。



夏見地内の花桃



箕曲小校庭の桃の花

てください。」との言葉が贈られました。また、四月六日の入学式においても地域づくり委員会から子どもたちを守る「いのちの笛」と文房具をお祝いに贈る予定をしています。

卒業生も新入生も新しい環境に早く慣れて、よく学び、元気にのびのびと生活し、大きく成長することを願っています。

ももちゃん広場

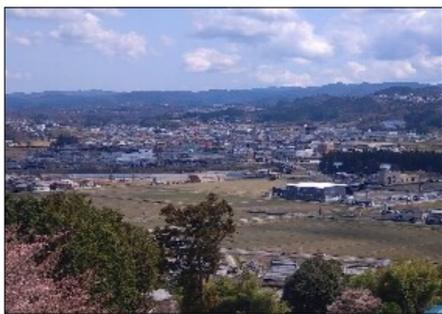
コロナウイルス感染症拡大防止のため、お休みが多かったのもちゃん広場ですが、三月二十二日に「終了式」を行うことができました。

花冷えのする小雨が降る日でしたが、元気に参加してくれました。一年の間に目を見張る成長をされた子どもさんを目を細めながら、民生児童委員さんやボランティアさんが心のこもった手作りの終了記念品を渡してくれました。

元気に羽ばたけ！みのちんちゃん



名張殿と十八人



野や山に草木が息吹き新しい活動が始まります。金毘羅さん（黒田勝手神社）の桜のつぼみも間もなく開花する。数年かけての公園化が花開き、春は桜の名所となりました。また四季折々の草木も彩ります。よくこの金毘羅さんに登り名張の街を展望する。この地から実にいい眺めだ。名張川、宇陀川が合流し国道が走り近鉄線が交差する。もう少し箕曲地域に

ビルがあってもいいのかなと思う。源平の戦の後、いい国造ろう一一九二（諸説あり）幕府を開き武士が政治の主権を握った。展望しながら一國一城の主となった気持ちで瞑想する。○国づくりの中心を夏見男山に天守を築き城下とする。小高い地形と川を越えて来なくてはならない。戦の情報の収集や自然を利用した守りにも良い。旧町名張は商人のまち、海の幸・山の幸、生活用品で市場が賑わっている。この金毘羅さんと赤目龍神山に山城を築く。西からの備えは完璧である。このため赤目から続く中村、瀬古口、夏見の良田は敵にとってリスクのある場所



となり主戦場とならない。民、百姓が額に汗し、泥にまみれて作る稲が踏みに行われることはない。中知山に金山でもあれば最高なのにと欲をかく。家臣は国を憂い、相い談らい新田の開墾や河川の改修、特産品の生産を共に企てる。地域では長老が子や孫に行事や仕事を教え伝える。より良い生活を送るために若人は知恵を出す。隅々で童の黄色い声が響いている。藩の米蔵には、飢饉や有事に備えた保有量があり、年貢も安く、穀物や商いの上りが領民の暮らしに活かされている。

奥州平泉が栄華を誇ったのは浄土の精神と金山だ。現在の名張の状況を見て候補者たちは何を思うのだろうか。砂金の上の楼閣でもなく、眞砂の上に乗っている楼閣を。団体自治にはたよりきれない。だから住民自治 地域づくりが大切である。金山は無い。地域の資源は互助や結束。私たちの力で幸せや楽しさが感じられるようにしなければならぬ。あっ今、近鉄特急が東に走り去った。名張に止まらない名古屋行きノンストップかぁ。さみし。(I・S)



昨年九月に新型コロナウイルスの感染防止対策を施しながら実施しました稲刈りイベントにご協力いただきました皆様、心よりお礼申し上げます。刈り入れた酒米好適酒「神の穂」にはさ掛けによる天日干し乾燥を施し、酒蔵こだわりの機械に頼らない手造り製法により、おいしいお酒に出来上がりました。

純米大吟醸天日干し「みのわ」
四月二十一日(木)発売



夏見の蔵元澤佐酒造より純米大吟醸天日干し「みのわ」が四月二十一日から発売となります。



澤佐酒造HP